

平成28年度取組結果に対する行政改革調査委員会の意見

重点項目 実施項目	目標設定 項目	達成 項目	未達成 項目	取組内容の説明
1 強い組織をつくる	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画について、概ね順調に取組が進捗している。 ・「1-（3）-イ 組織のマネジメント力の強化」の達成指標「庁内応援の活用件数」について、達成割合が80%未満であることから、制度の更なる周知や活用を促す方策等を検討する必要がある。 ・「1-（2）-イ 職員の適正配置」について、策定した「定員管理方針」に基づき、適正な目標値を設定するとともに、着実な計画の推進を図る必要がある。
(1) 組織体制の最適化	1	1	0	
(2) 人材育成の推進	1	1	0	
(3) 組織強化のルールづくり	1	0	1	
2 強い財政をつくる	8	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画について、取組の進捗にやや遅れが見受けられる。重点目標「強い財政をつくる」を達成するため、取組内容の検証を行うとともに実施計画の目標値や年次計画が適切か再検討する必要がある。 ・「2-（1）-イ 特定財源の確保」の達成指標「ふるさと納税の額」について、リニューアルを行った結果が成果として表れており、今後も更なる取組の推進が望まれる。 ・「2-（2）-工 公共施設エネルギー利用の合理化」の達成指標「電気使用量の削減量」について、目標値と実績値が大幅に乖離していることから、現状値を踏まえた目標値の再検討や取組内容の見直しが必要である。
(1) 積極的な財源の確保	4	2	2	
(2) 資産の適切な管理、運用	3	2	1	
(3) 市有財産の有効活用	1	0	1	
3 市民とともに公共サービスを向上させる	6	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に基づき、概ね順調に取組が進捗している。 ・「3-（1）-工 市民参加による行政評価の実施」の達成指標「行政への理解や関心が向上」について、目標値と実績値が乖離しており、かつ、実績値が目標値に比べ、大幅に高い数値となっていることから、成果指標の見直し等を検討する必要がある。
(1) 市民協働の更なる充実	4	2	2	
(2) 行政が保有する情報の有効活用	1	1	0	
(3) 公平な行政サービスの確立	1	1	0	
合計	17	10	7	

【行政改革調査委員会の意見】

- ・取組実績及び目標実績については、全体としては概ね順調に進捗しているが、一部において、進捗にやや遅れが見受けられることから、年次計画と取組実績、目標値と実績値が乖離している項目については、内容の見直し等を実施し、計画の適切な進捗管理を図る必要がある。なお、目標値と実績値が大幅に乖離している項目については、成果指標の設定根拠の妥当性を含めて検証する必要がある。
- ・取組内容により目標値の設定が難しい項目については、年次計画と取組実績との内容を踏まえ、取組が適切に進捗しているか検証していく必要がある。
- ・計画の推進に当たっては、個々の成果指標における実績値の達成・未達成だけでなく、計画全体の進捗状況を総体的に把握し、P D C Aサイクルをまわすことが重要であり、評価の仕方や進捗管理の手法などを検討する必要がある。